

# 携帯電話について



## 1 はじめに

今や携帯電話は私たちの日常生活やビジネスに欠かせない便利なものになりました。中でも携帯電話によるメールやインターネットは、いつでもどこでも情報を発信したり、受信したりできることから、ライフスタイルに大きな影響を与えています。

しかし、いじめ、迷惑メール、個人情報漏洩、架空請求詐欺、出会い系サイトの危険など深刻なトラブルや犯罪が多発していることも事実です。近年では犯罪者の組織化で、手口が巧妙になり、凶悪な事件が発生しています。子供たちや一般の利用者をねらった危険なワナがいたるところに仕掛けられているといってもよいでしょう。

では、子供たちにそれらの危険性をどこで教えたらいいのでしょうか。学校教育でも取り上げるとともに、家庭教育でも取り上げてほしいのです。買い与える親の責任として、携帯電話の危険性について、関心をもっていただきたく、ご家庭向けのお願いを配布させていただきました。

## 2 携帯電話を買い与える親と、手にした子供のズレ

警視庁の調査結果では、携帯電話の保有率が、小学生 32.4 %・中学生 68.4 %・高校生 96.0 %にのぼっています。4 年間で約 3 倍になりました。

保護者が携帯電話を子供に買い与える理由の第 1 位は「安心」です。いつでもどこでも通じることができるのだからでしょう。保護者が子供に携帯電話を持たせる主な理由の 83.9 %が家族との連絡のためです。

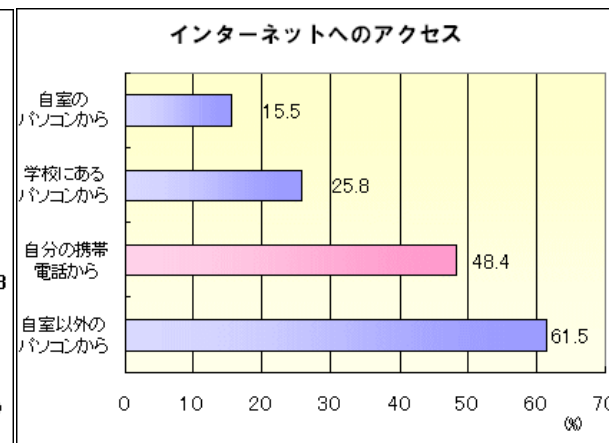
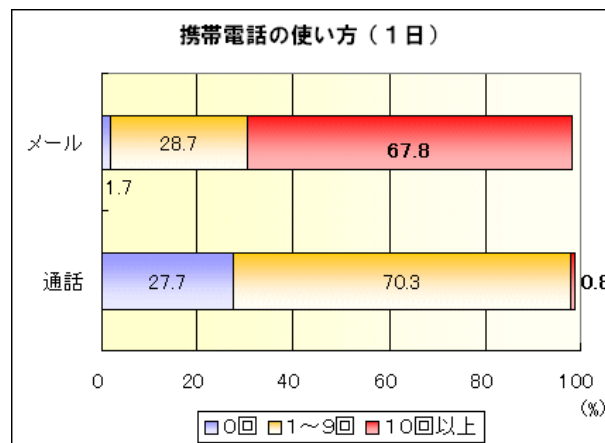
ところが、中学年（3，4 年）以上の子供がほしい理由は「友達とのコミュニケーション」なのです。そもそもここから親子のずれが生じています。子供は、「クラスのみんなが持っている。持たないと友達付き合いができない。」「自分だけ持っていないと時代遅れで、変人扱いされる。」「すぐ連絡できて、安心でしょう。」「（親の心配を逆にとる）などと言って携帯をほしがります。

低学年の子供は、単に携帯電話を連絡用にと言われて持っている場合が多いのですが、そのうち、友達とのコミュニケーションに使われるようになるのは目に見えています。

## 3 親が知らない子供の携帯電話の使い方

子供は通話をあまりしません。右上のグラフでも分かるように、ほとんどメールです。メールの送信相手は、同じ学校の友達が最も多くなっています。

また、誘われるまま、どんどんメールアドレスを交換している子も多くいます。自分のメールアドレスが一人歩きをして、知られたくない人に渡ってしまうこともあります。

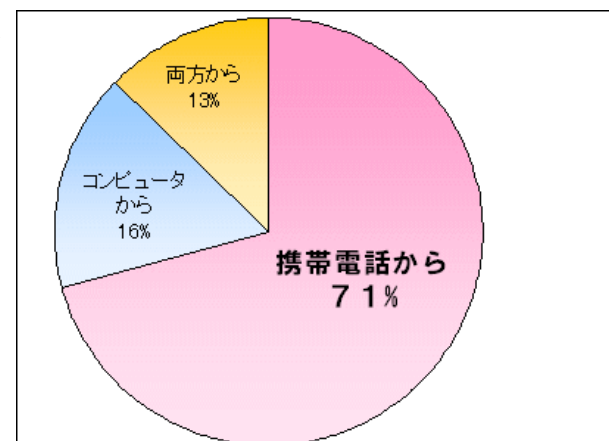


【警視庁のホームページより】

自分の携帯電話からインターネットへのアクセスをしている子供が約半数いることはご存知でしょうか。

そして、出会い系サイトを利用した子供のうち 84 %は、携帯電話からアクセスをしています。（両方からを含む）

携帯電話は、安心のための機械どころか、知らない人との出会いや、やりとりをする機械になることもあるのです。



【警視庁のホームページより】

## 4 親が見たこともない情報

携帯で見られるインターネットには、いろいろなサイトがあります。例えば、次のようなものです。おそらく親が見たこともないサイトでしょう。

- ・アダルトDVDを売るため、女性を監禁・緊縛し性行為を強いる状況や子どもに性行為を強いる状況などの動画を配信するサイト
- ・規制する法律がないため、所持や摂取等が法的に問われない薬物を“合法ドラッグ”と称して販売するサイト
- ・一緒に自殺をする人を誘ったり、苦しむに死ねる方法を紹介したりするサイト
- ・家出のノウハウや少女を家出に誘ったり、家出中の援助交際の相手を探す書き込み等を掲載したりするサイト
- ・学校の公式ホームページではなく、卒業生や在校生等が作っている学校裏サイト 誹謗中傷の書き込みが多く見られ、いじめ等トラブルの原因となっているサイト（いずれも警視庁のホームページから抜粋）

インターネットを見なくても、見たことも聞いたこともないメールが突然送られてくることもあります。その誘いに乗って、知らない人と会ったという事件も報告されています。返事をすぐにしないと、仲間はずれにされるという不安から一時でも携帯電話を離せない状態が続いている子もいます。子供がどんな携帯の使い方しているかを把握するのは親の責任です。

様々な理由から、子供に携帯電話を所持させていることとは思いますが、その場合には、今一度、使用の仕方について、お子様と話し合いをもち、管理を徹底して下さるようお願いいたします。